

健康長寿

朝のラジオ体操推進を

健康増進計画の中で検討



大戸久一 議員

とにかく来て体験してみて、気持ちいいよー

質問 体力向上と健康の保持や増進を目的としたラジオ体操は、その時間帯・場所・人数等を問わず、費用がかからずに血圧や血糖値の低下と、医療費削減効果が大きい。認知症予防・コミュニティ推進、地域活性化



下小川の朝のラジオ体操風景

化にも寄与している。下小川地区で現在も行なっている「朝のラジオ体操」の参加者アンケートでも、30人中25人が、ずっと続けてほしいと回答している。日本一ラジオ体操の盛んな町を目指し、熱意を持って、全町で推進するべきでは。

答弁 健康増進課長 現在策定中の健康増進計画の中で、各地域の実情に合わせて実施できる方向で調整していきます。

防災訓練・土砂災害

質問 ここ数年、全国にわたって想定外の災害が発生。今年2月の大雪も想定外だったが、これから起こり得る地

震・崖崩れ・土砂災害・台風等による風水害など、どんな災害が発生するか想定できない。しかし、あらゆる災害時に起こり得る問題点が、防災訓練を繰り返して行なうことにより、指揮系統・組織の対応等が認識され、想定外のことが想定内になる。当町においても、あらゆる災害を想定した防災訓練を、年1回は行なうべきでは。

答弁 総務課長 町の主体の防災訓練もできるだけ行なっていくますが、これからは、自主防災組織による地域主体の防災訓練を中心に行なっていくと考えています。

その他の質問

◎ICワーク事業

今だからこそ、しっかり力を入れて！

平和事業

「非核平和都市宣言」看板の再建を 関係各課と協議します



柳田多恵子 議員

質問 町が行なっている平和事業、特に広島平和式典への中学生派遣事業のさらなる充実・拡大と、それぞれの中学校・中学生全体で共有する試みは。夏休みの1日を平和について考える日として課題を出すなど、平和学習は。

答弁 学校教育課長 他 拡大とまではいきませんが、今後も人数を減らすことなく実施していきたい



庁舎前にあった看板

と考えます。文化祭の際に、全校生徒の前で広島での体験を発表する機会を設けているところもあります。また、社会科教育の中で平和学習は行なっています。

質問 庁舎前にあった「非核平和都市宣言の町」の木製看板が撤去されている。再建を。

答弁 総務課長 土 台が腐食し危険なため、昨年11月に取り除きました。「非

核平和都市宣言の町」だけでなく、他の宣言もともに掲示してありましたので、ホームページでの掲載なども含めて関係各課と協議したいと考えます。

質問 頻発する米軍機の騒音・低空飛行への苦情は。他地域では部品落下事故なども起きている。苦情を上げること、事前に飛行計画の通知を求めることも可能だと思

答弁 総務課長 米軍機は、日米地位協定によって日本の航空法の適用外となっています。苦情・問い合わせが過去に3件ありましたが、事情を説明しました。事前通知については調査します。頻繁に起きるようであれば、苦情として上（国・県）に上げていくことは検討しなければならぬと考え

雪ニモ 夏ノ暑サニモマケヌ...



高瀬 勉 議員

まちおこし

「もっと暑いぞ!! 小川町」暑さを売りにしたまちおこしは 熊谷市との違いを訴えることに難を感じます

質問 地域気象観測所（アメダス）を誘致できないか。

答弁 総務課長 アメダスの増設について気象庁に問い合わせたところ、「アメダスは、気象状況を時間的・地域的に細かく監視し、気象災害の防止と軽減を目的として全国に整備しています。気温については、おおむね20キロメートル間隔で観測網を整備して、現状で新たな地点に観測所を設ける計画はありません」とのことでした。

質問 盆地の持つ特徴を生かした新たな特産品の開発や、関連企業の誘致は。

答弁 産業観光課長 特産品に関する企業誘致は行なっていないませんが、現在町では、地元産の有機栽培米や麦を使用した地酒・地ビールが発売されています。また、町内産のブドウを利用したワインも委託製造されており、6次産業化の相談等に応じています。

質問 暑さをPRしている自治体は、同時に熱中症対策にも力を入れている。当町の取り組みは。

答弁 健康増進課長 天気予報・熱中症指数等を確認し、危険を有する場合には、防災無線や防災メールの機能を活用して注意喚起を行なっています。また、健康長寿サポーターの皆様へ配付し、地域の方々へ情報の提供をお願いしています。



涼を求めて